

【NEWS RELEASE】

2026 年 4 月 24 日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ
 三井住友 DS アセットマネジメント株式会社
 SMBC グローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社
 エー・アイ・キャピタル株式会社
 株式会社SMBC信託銀行

アセットオーナーに向けた資産運用にかかるアドバイザーサービスの提供強化について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：中島 達、以下、グループを総称して「SMBC グループ」）は、目下、資産運用の高度化のニーズが高まっている学校法人や財団法人をはじめとするアセットオーナーのお客さまに向け、2026 年度より資産運用アドバイザーサービスの提供を本格的に展開します。これにより、保有運用資産のリスク分析やガバナンス高度化支援等の部分的なコンサルティングの提供から、包括的な資産運用受託（OCIO：Outsourced Chief Investment Officer）まで、お客さまの幅広いニーズへの対応が可能となります。

近年、インフレの進行や金利環境の変化、2024 年 8 月に政府が策定した「アセットオーナー・プリンシプル」^{*1}等を背景に、アセットオーナーに対して、資産運用の高度化を通じた財務基盤の強化や堅牢なガバナンス・リスク管理体制の整備が一層求められています。

このような環境を踏まえ、SMBC グループは、お客さまの課題に対して、部分的な支援から投資プロセス全体を担う包括的な資産運用受託まで、柔軟なサービスを提供します。これにより、お客さまの中長期的な財務・経営基盤の強化を後押ししてまいります。

【参考 1】 OCIO を活用した場合のイメージ

アセットオーナーにおける 主な運用プロセス	OCIOを活用せず	OCIOを活用した場合
運用目的・基本方針策定	運用プロセスの全てを 自家運用で対応 <発生し得る主な課題> ✓ 専門的な人材・ノウハウの不足 ✓ 堅牢なガバナンス・リスク管理体制の整備 ✓ 実務負担の増加	運用プロセスの全部または一部を 運用の専門家に委託 お客さまのニーズに合わせて ご支援の範囲・内容を決定
資産配分・基本ポートフォリオ設計		
運用手法・マネージャー選定		
リバランス・執行管理		
モニタリング・リスク管理		
改善提案・再構築		
成果報告・説明責任		<期待される効果> ✓ 運用の高度化を通じた中長期での 財務・経営基盤の強化 ✓ 効率的な業務運営

SMBC グループでは、グループ内の運用会社がそれぞれの専門性を活かし、保有運用資産の分析、

アセットアロケーション策定、運用会社・ファンド選定に関する助言から包括的な資産運用受託まで、お客さまのニーズにあわせて的確かつ柔軟なサービスを提供します。さらに、資産管理・保全面では、株式会社SMBC信託銀行をご利用いただくことで、お客さまのニーズに沿った一体的なソリューション提供が可能です。

SMBCグループでは、今後も国内のアセットオーナーが抱える幅広い課題の解決に取り組み、資産運用立国の実現に貢献してまいります。

【参考2】アセットオーナー向けアドバイザーサービスに携わる主なグループ会社の特徴



三井住友DSアセットマネジメント (代表取締役社長 兼 CEO : 荻原 亘)

- 自社アクティブ運用に強みを持ち、外部ファンドマネージャーの活用を含む国内外の幅広い運用戦略を提供するグループの中核資産運用会社
- 優良な運用戦略の提供に加え、お客さまの課題解決に資するポートフォリオ提案、運用基本方針の策定など幅広く支援
- 国際卓越研究大学^{※2}認定校を含む国立大学等からの運用受託ならびに資産運用の高度化に向けた支援実績を有する



SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング (代表取締役社長 兼 CEO : 小林 賢)

- 投資環境やお客さまのニーズに即した最適なアセットアロケーションの策定などに強みを持ち、組織内に設置するCIO (Chief Investment Office) からマクロ経済・市場環境分析の情報提供も行う資産運用・投資助言会社
- SMBCグループに縛られず、グローバルな視点で優良な運用戦略・マネージャーを選定する「中立性」を重視
- 保有運用資産の分析や、分析を通じた改善提案、コンサルティングなどを提供し、公益法人向けに実績を持つ



エー・アイ・キャピタル株式会社 (代表取締役社長 : 佐村 礼二郎)

AIC

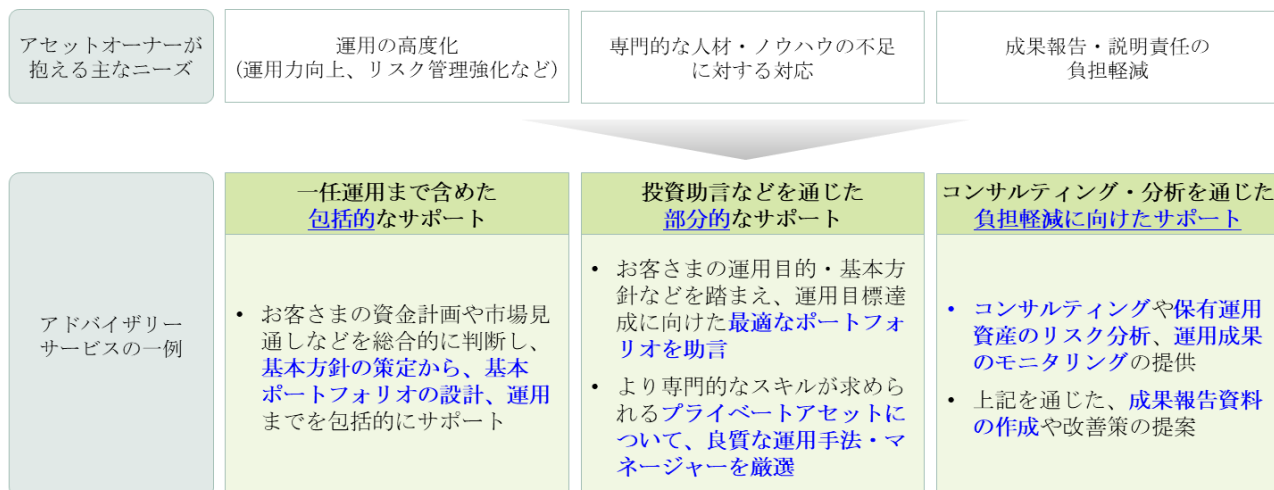
- 2002年設立以来、一貫してプライベート・エクイティをはじめとした低流動性オルタナティブ資産に注力してきた資産運用会社
- ファンドオブファンズ、投資一任、投資助言の形態によりプライマリー投資、セカンダリー投資、共同投資といった投資手法を提供可能
- 国内外のファンド運用会社とのネットワークは国内最大級のカバレッジを有する



SMBC信託銀行 (代表取締役社長 : 荻原 攻太郎)

- 信託銀行として、お客さまの資産を運用・管理・保全
- 信託を用いたさまざまな投資機会の提供や、信託の機能を活かした、お客さまのニーズに見合うソリューションの提供

【参考3】主なニーズに対するアドバイザーサービスの提供例



※上記はいずれも例示であり、実際とは異なる場合があります。

※1 アセットオーナー・プリンシプルとは、アセットオーナーが受益者などの最善の利益を勘案して、その資産を運用する責任（フィデューシャリー・デューティー）を果たしていく上で有用と考えられる共通の原則として、2024年8月に策定されました。

※2 国際卓越研究大学とは、世界トップレベルの研究を行い、その成果を社会や経済に還元できる大学を国が認定する制度です。認定にあたっては、国際的に卓越した研究成果の創出のほか、実効性の高い事業・財務戦略が求められます。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社三井住友フィナンシャルグループ 広報部	宏林：	03-4333-4621
三井住友 DS アセットマネジメント株式会社 サステナビリティ推進部 広報・ブランディングチーム	永澤： 三牧： 藤山：	03-6205-1862 03-6205-1735 03-6205-0968
SMB C グローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社 企画部	松尾：	03-4577-7363
エー・アイ・キャピタル株式会社	宮川：	070-1180-4339
株式会社SMB C信託銀行 経営企画部 広報・サステナビリティ推進室	西澤：	03-6854-4176

【ディスクレームー】

- ・本ニュースリリースは、情報提供のみを目的とするものであり、国内外の投資家に対して勧誘行為または投資推奨を意図するものではありません。
- ・本ニュースリリースに掲載されているサービスなどの情報は、発表日現在の情報であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・各アドバイザーサービスの詳細については、サービスを提供する会社以外ではお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・各活動は、各関係事業体に適用される許認可に従い、許認可を有する法域において実施されることを前提とします。